

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		6,855	t-CO <sub>2</sub>
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素換 排出 量 算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO <sub>2</sub>
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	④メタン		t-CO <sub>2</sub>
	⑤一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑨三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO <sub>2</sub>
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		6,855

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
温室効果ガス 総 排 出 量		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
削減率（対 基準年度）				%		%		%	%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
削減率（対 基準年度）						%		%	%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
原単位あたりの 排 出 量	0.2516	t-CO <sub>2</sub> / t	0.2441	t-CO <sub>2</sub> / t	0.2493	t-CO <sub>2</sub> / t	0.2512	t-CO <sub>2</sub> / t	0.2486	t-CO <sub>2</sub> / t
削減率（対 基準年度）			3.0	%	0.9	%	0.2	%	1.2	%
原単位あたりの みなし排出量						t-CO <sub>2</sub> / t		t-CO <sub>2</sub> / t		t-CO <sub>2</sub> / t
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度は、温室効果ガスの原単位を1.2%削減。年目標の1%達成。</li> <li>塗装工程の焼付乾燥炉を改造し、灯油→ガスへの燃料転換を実施。</li> </ul>
--

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
工場等の製造工程における対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>■エネルギーの使用の合理化に関する中長期改善計画の実施</li> </ul>	エネルギー消費原単位改善 1%/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の定期的なエアリーク修理</li> <li>・塗装工程の焼付乾燥炉を改造し、灯油→ガスへの燃料転換を実施。</li> </ul>
省エネルギー・省資源の行動の実践・冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> <li>■冷房28℃、暖房18℃を徹底する</li> <li>■フィルターの定期清掃の徹底</li> <li>■空調機器の更新時に省エネタイプを検討する</li> <li>■クールビス・ウォームビスの推奨</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷暖房機器の管理定着</li> <li>・フィルターの定期清掃実施</li> </ul>
省エネルギー・省資源の行動の実践・照明	<ul style="list-style-type: none"> <li>■昼休み、時間外の消灯を徹底する</li> <li>■工場照明の分割化、省エネタイプへの更新を推進する</li> <li>■新規照明設備はLED照明の順次展開</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・TB、工場外の街灯の照明LED化実施</li> <li>・事務所の時間外消灯時間をチェックシートで管理。</li> </ul>
省エネルギー・省資源の行動の実践・OA機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>■パソコン、コピー機の省エネモード又は離席、退社時のスイッチ切を徹底</li> <li>■PC待機モードの設定を推進</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー機省エネモード実施</li> <li>・パソコンのON・OFFのデジタル管理実施</li> </ul>

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目（令和 6 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）
1999年	太陽光発電設備	年間発電量12,431kWh

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO <sub>2</sub>
熱		t-CO <sub>2</sub>

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO<sub>2</sub>

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

電力及び燃料の消費の合理化と工法改善などにより、製品1本あたりのCO<sub>2</sub>排出量を引き下げる取り組みを進めています。

その他に

- ・生産量に対応した設備寄せ止めによるライン稼働率向上
- ・生産シフト見直しによる効率的なライン稼働
- ・スクラップ（不良品による仕損）低減活動
- ・戻し炉の空燃比調整を実施し、ガス使用量の適正化を図った。

に継続的に取り組んでいます。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

工程内の床、設備、工程周りの塗装を実施し、外観をきれいに維持する活動を行っています。